

都道府県番号	
都道府県名	大阪

(    )

学校名及び規模

高槻市立第三中学校							
	1年	2年	3年	養護学級	計	教員数	備考
学級数	5	5	5	3	18	34	
生徒数	169	185	178	8	540		

実践研究の概要

『生徒一人ひとりの主体的な学びと自己教育力を高めるとともに、  
 生きる力としての学力の基礎基本の定着をめざす』～ Active Study ! ～  
 本校のめざす生徒像「Active Mind」の精神を基に、教科固有のサブテーマを持って、  
 能動的な生徒一人ひとりの学習に対する学びとその意欲を育み、教科学力の向上を図る  
 とともに、生涯学習の基礎となるべき「生きる力の一つとしての学力」として、その学  
 び方を身につけ、併せて21世紀に生きるために必要な資質とされている「自ら学び、  
 考え、判断し、行動する力」と「広く社会でたくましく生きていくための力」の育成を  
 めざす。

実践研究の内容について

( ) 研究体制の工夫

校務分掌、教育課程、必修・選択パートを中心に、選択履修幅の拡大と円滑な実施に取り  
 組む。

教育課程に示された総合・選択の各学年の総時間数確保を前提とし、併せて各学年週2時  
 間の総合的な学習の時間を設定した。残りの時間数を選択教科の多様なコースの開設をめざ  
 した。「個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善」に取り組む。

( ) 平成14年度選択教科年間指導計画

学 年	選 択	時 期	選 択 回 数	年 間 設 定 時 数	選 択 教 科 数	選 択 コ ー ス 数	教 科	内 容 ま た は コ ー ス 名	展 開							
									ク ラ ス	分 割 数						
1	A	通年	1	35	5	8	国語	国語が苦手な何とかしたい人に	5	8						
		通年	1				国語	国語の授業では物足りない人に								
		前後	2				社会	社会(地理)の力を伸ばそう								
		前後	2				数学	選択数学A 基礎基本を中心に								
		前後	2				数学	選択数学B 応用・発展にもチャレンジ								
		前後	2				理科	実験・体験研究コース								
		前後	2				理科	予想をたて、実験しよう								
		通年	1				英語	English World								
2	B	前期	1	20	4	7	国語	朗読家・アナウンサーをめざす	5	7						
							国語	ルポライター、民話作家をめざす								
							数学	選択数学C 基礎基本								
							数学	選択数学D 算数・数学の先生になろう								
							英語	英語で表現								
							保体	レッツ ソフトボール								
							保体	レッツ 野外活動								
		C	前後				2	35			4	8	音楽	ギターを弾こう	5	8
			前期				1						美術	絵画コース		
			後期				1						美術	デッサンコース		
前後	2		保体	ライフスポーツを楽しむ												
前後	2		保体	レクリエーションスポーツを楽しむ												
前後	2		保体	ニュースポーツを楽しむ												
通年	1	技家	金属・機械製作コース													
前後	2	技家	手織り													



2年	a	4	11.8	5	15.6	8	21.6	9	28.1	13	38.2	39	23.1
	b	19	55.9	24	75.0	22	59.5	19	59.4	20	58.9	104	61.5
	c	11	32.3	3	9.4	7	18.9	4	12.5	1	2.9	26	15.4
3年	a	10	32.3	14	42.4	9	28.1	7	20.6	6	19.4	46	28.6
	b	20	64.5	19	57.6	20	62.5	24	70.6	23	74.2	106	65.8
	c	1	3.2	0	0	3	9.4	3	8.8	2	6.4	9	5.6

## 2. 学びたい教科(講座)や内容を自分で選択・決定できたか

		1組		2組		3組		4組		5組		学年計	
1年	a	15	50	15	48.4	9	29	15	45.5	15	48.4	69	44.5
	b	13	43.3	11	35.5	16	50	15	45.5	11	35.5	64	41.3
	c	2	6.7	5	16.1	7	21	3	9.0	5	16.1	22	14.2
2年	a	10	30.3	10	30.3	16	44.4	15	46.9	10	29.4	61	36.3
	b	18	54.5	22	66.7	15	41.7	10	31.3	19	55.9	84	50.0
	c	5	15.2	1	3.0	5	13.9	7	21.8	5	14.7	23	13.7
3年	a	12	38.7	19	57.6	14	43.8	20	58.8	20	64.5	85	52.8
	b	14	45.2	13	39.4	16	50	13	38.2	9	29.0	65	40.4
	c	5	16.1	1	3.0	2	6.2	1	3.0	2	6.5	11	6.8

## 3. 意欲的に取り組むことができたか

		1組		2組		3組		4組		5組		学年計	
1年	a	3	10.3	7	23.3	6	18	3	9.1	9	30	28	18.1
	b	20	69.0	16	53.4	20	61	24	72.7	16	53.3	96	61.9
	c	6	20.7	7	23.3	7	21	6	18.2	5	16.7	31	20
2年	a	7	20.6	11	33.3	6	17.2	13	40.6	14	41.2	51	30.4
	b	23	67.6	19	57.6	25	71.4	14	43.8	19	55.9	100	59.5
	c	4	11.8	3	9.1	4	11.4	5	15.6	1	2.9	17	10.1
3年	a	16	51.6	18	54.5	9	28.1	15	44.1	10	32.3	68	42.5
	b	15	48.4	14	42.4	21	65.6	18	52.9	19	61.3	87	54.4
	c	0	0	1	3.1	1	3.1	1	3.0	2	6.4	5	3.1

## 4. 選択した講座で学びたいことが十分に達成できたか

		1組		2組		3組		4組		5組		学年計	
1年	a	17	56.7	12	38.7	10	34	6	18.1	17	63.0	62	41.3
	b	9	30	13	41.9	13	45	15	45.5	7	25.9	57	38
	c	4	13.3	6	19.4	6	21	12	36.4	3	11.1	31	20.7
2年	a	12	34.3	13	39.4	20	55.6	20	62.5	14	41.2	79	46.5
	b	15	42.9	15	45.5	13	36.1	8	25.0	17	50.0	68	40.0
	c	8	22.8	5	15.1	3	8.3	4	12.5	3	8.8	23	13.5
3年	a	17	54.8	17	51.5	15	46.9	18	52.9	13	41.9	80	49.7
	b	14	45.2	16	48.5	15	46.9	14	41.2	16	51.6	75	46.6
	c	0	0	0	0	2	6.2	2	5.9	2	6.5	6	3.7

各学年のアンケート結果から次のようなことが考えられる。

- 1) 概ね「選択教科」を肯定的にとらえ、意欲的に取り組み、それなりの達成感を持っている。この傾向は、学年があがるにつれて高くなっている。これは、学年が上がるにつれ、選択教科の時間が増え、また多様な講座や習熟度を含めたさまざまなコースが開設され、生徒の要求に応えるものとなっているからと考えられる。
- 2) 生徒の希望を尊重して選択教科・講座(コース)を決定したが、希望人数のかたよりがあり、生徒の一部は第二希望の教科・講座(コース)にまわらざるをえなかった。しかし、第一希望の教科・講座(コース)をとれなかった生徒には、やはり不満が残り、人数調整の難しさを感じる。
- 3) 学年が上がるに従い、「選択教科の意味」も理解していっているが、3年生でもまだ理解していない生徒もあり、ガイダンスをより充実させる必要がある。
- 4) 自分の好きな教科や講座(コース)を自分で選んで履修できるというのは、意欲につながり、クラス外の生徒とも一緒に学習できるというのも「選択教科」の魅力の一つになっているようである。

( ) 成果の普及方策

11月にオープンスクール'03を開催し、関係者に本校の取組状況を発表する。

( ) その他(その他、特色ある取組がある場合に記入)

評価について、次年度研究をすすめる。